2011年8月4日

各　　位

会 社 名　塩 野 義 製 薬 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　手 代 木　　功
（コード番号　4507　東証・大証第一部）
問合せ先　広　報　部　長　馬 場　　隆 彦
TEL　（06）6202－2161

研究所新棟の完成に関するお知らせ

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」）は、創薬研究の新しい中核施設となる研究所新棟を、大阪府豊中市の研究所敷地内に建設し、本日、竣工式を執り行いましたのでお知らせいたします。

新棟竣工に伴い、現在、大阪府と滋賀県の4箇所に分散している国内の創薬研究機能を、新棟ならびに既存3棟から構成される医薬研究センター（**S**hionogi **P**harmaceutical **R**esearch **C**enter、略称：「SPRC（スパーク）」）に集結させ、組織連携を一層強化することにより、世界トップクラスの研究生産性の実現をめざします。

このたび完成した新棟は、最新の実験機器や多機能化する情報環境に対応する設備を取り入れた国内最高水準の創薬研究施設であるとともに、環境面への配慮や、研究者間の交流や相互連携を活発化させ、創造力や柔軟な発想を促すレイアウトを採用するなど、様々な工夫が施されております。

代表取締役社長の手代木 功は、「豊かな発想力と高い研究生産性を追及する最新鋭の施設である新棟を中核として、我々の持てる創薬研究機能を結集したSPRCは、シオノギが10年後も20年後も成長を続け、その存在感を更に大きなものとするための礎となると期待しています。『より良い薬を大阪から、世界へ』という熱い想いを胸に、SPRCから画期的な新薬の創出を目指してまいります」と述べています。

塩野義製薬は、研究開発を軸とした創薬型の製薬企業として、ますます研究生産性と創薬スピードに磨きをかけ、代謝性疾患領域、感染症領域、疼痛領域の重点領域を中心にグローバルに質の高い自社開発品の創製に注力してまいります。

以 上

【研究所新棟の概要】

所在地	大阪府豊中市二葉町 3 丁目 1 番 1 号
敷地面積	34627.97 ㎡（SPRC エリア）
建築面積	9,800 ㎡
延床面積	約 44,000 ㎡ （参考：既存棟延床面積 3 棟合計 約 23,400m²）
構造	SRC 造、S 造、RC 造、免震構造
建物階数	地上 5 階
総工費	約 189 億円（当初予定約 140 億円）
起工年月	2008 年 9 月
竣工年月	2011 年 7 月
稼働開始	2011 年 8 月中旬予定
設計、建築施工	株式会社竹中工務店

※なお、研究所新棟は「環境配慮型研究所」として、国土交通省の「平成 21 年度（第 2 回）住宅・建築物省 CO_2 推進モデル事業」に採択されております。



[お問合せ先]
塩野義製薬株式会社 広報部
大阪 TEL：06-6209-7885　FAX：06-6229-9596
東京 TEL：03-3406-8164　FAX：03-3406-8099